

第5章 各分野に共通する施策の推進

第1節 環境を支える人づくり・地域づくり

1 誰もが学べる環境教育の推進

(1) 体験活動の提供

① 里山里海湖学校教育プログラム集【自然環境課】

平成26年度から里山里海湖について、小中学校教員が児童・生徒を指導するためのプログラムを現場の先生方の意見を踏まえながら作成しています。

本体験プログラムは、身近な里山里海湖を実際に体験することにより保全の意識を高め、自主的な活動を促すことを目的としており、全ての小中学校へ配布しました。これにより、小中学校の教員が、「里山里海湖とは何か」、「里山里海湖でどんな活動ができるのか」を知ることができる手引書としての活用と「里山里海湖の恵み」を児童・生徒に実体験させることができるものと期待しています。

なお、これまでに作成した体験プログラムは県ホームページでも内容を閲覧することができます。

＜これまでに作成した体験プログラム＞

- ・三方五湖周辺体験プログラム (R6改定)
- ・北潟湖周辺体験プログラム (R4改定)
- ・六呂師高原周辺体験プログラム (R4改定)
- ・丹南地区周辺体験プログラム (R5改定)



各体験プログラムの内容
(福井県ホームページ)

さらに、それぞれの地域の特性を活かした体験活動を実施することで、より福井の里山里海湖の魅力を実感し、保全・再生の意識を向上させていけるものと考えています。

今後とも、系統立てた環境教育を推進するため、学校の年間指導計画に位置付けられるよう努めていきます。

表5-1-1 令和5年度にプログラムを体験した学校数・人数

	学校・団体数	児童・生徒数
三方五湖	34校・団体	1,293名
北潟湖	71校・団体	2,544名
六呂師	44校・団体	3,349名
丹南	224校・団体	9,164名
合計	373校・団体	16,350名



学校教育プログラム 小学生受講の様子

② 県有施設における環境教育

県の自然保護センターや試験研究機関では、環境に関する展示や情報の提供、自然観察会等の学習機会の提供を行っています。

表5-1-2 県の主な環境教育・学習施設

施設名	概要
自然保護センター (大野市南六呂師)	・県内の自然や環境の保全について紹介する展示 ・プラネタリウム、天体の観察施設 ・自然観察会等の実施
海浜自然センター (若狭町世久見)	・ふれあい水槽、若狭の海湖(うみ)等を紹介する展示 ・自然体験講座の開催
里山里海湖研究所 自然観察棟 (若狭町鳥浜)	・野鳥やヒシ等の自然観察ガイド ・簡単な工作体験や里山里海湖に関する相談受付
年縞博物館 (若狭町鳥浜)	・水月湖年縞の展示
衛生環境研究センター (福井市原目町)	・環境関連図書、ビデオ等の資料の提供 ・見学者の受入れ ・環境科学体験教室や夏休み衛生環境教室の実施
総合グリーンセンター (坂井市丸岡町楽間)	・緑化推進のための樹木や花の見本園 ・緑や木とふれあい、遊び学べる施設 ・緑と花に関する講座の開催や相談受付
内水面総合センター (福井市中ノ郷町)	・河川や淡水魚に関することなどの展示

◆第2部 分野別施策の実施状況

(2) ふくいの未来へつなぐ環境学習事業

【環境政策課】

県内の小学生を対象とした、ワークショップ形式の環境学習事業です。本事業は「見て、体験して、学ぶ」ことをコンセプトとしており、環境保全に寄与する技術を有する県内の企業・団体の協力を得て行うアクティブな活動が特徴です。令和6年度は、永平寺町と美浜町で各2回（計4回）のイベントを開催しました。

7月30日（午前の部、午後の部 計2回）には、関西電力株式会社の協力のもと、永平寺町の市荒川発電所で水力発電をテーマとした体験学習会を開催し、参加者は水力発電所の内部に入り、山からの落水の力を利用して回る巨大なタービン発電機を見学しました。

8月3日と8月5日には、三方五湖 DMO 株式会社の協力のもと、美浜町レイクセンターで太陽光発電をテーマとした体験学習会を開催し、参加者は先進技術を活用した電池推進遊覧船に乗船して三方五湖の自然を満喫しました。

どの回においても、2050年のカーボンニュートラル実現に向けた意識を高める機会となりました。



市荒川発電所内にある巨大タービン発電機の説明



小型電池推進船の操縦体験

(3) 環境・エネルギー教育支援事業

【義務教育課・高校教育課】

県内の小・中・高等学校を対象に、地域の特色に応じた実践を通して、児童・生徒の理解を深め、自ら考え、判断し、よりよく環境・エネルギー問題を解決する力を育成することをねらいとした「環境・エネルギー教育支援事業」を推進しています。

小学校では、「電流の働き」黒板実験セットや実験用大型検流計等を購入し、発電について学習する教材の活用やエネルギー教育関連施設の見学を通して、環境・エネルギー教育を進めています。

中学校では、ボルタ・ダニエル電池実験器や力学的エネルギー保存の法則実験器等を購入し、実験や観察を通してエネルギーの変換について正しい知識と科学的な理解を深める授業を充実させています。

高等学校では、温度差発電学習キットやデジタル蓄電実験器を利用した実験を通し、環境・エネルギーについて探究的に学習するなど、発展的な環境・エネルギー教育を進めています。さらに、専門家による講演会や施設見学会等を通してエネルギー問題や放射線に対する理解を深める取組みを実践しています。

今後も、各校の取組みを県内全体に広め、環境・エネルギー教育の一層の普及に努めていきます。

表5-1-3 環境・エネルギー教育支援事業取組状況

内 容	4年度	5年度	6年度
環境・エネルギー教育に関連する施設等の見学	16校	15校	14校
講師による講演や意見交換会での指導および助言	2校	2校	1校
エネルギー教育に関する資材・機材の活用方法の研究	98校	47校	99校

(4) 大学生のエコラーニング事業【環境政策課】

県内の大学生を対象とした、将来の環境活動を担う人材の育成を目的とした事業です。本事業では、屋外での体験活動を伴うワークショップを中心として、環境保全全般について考えるラーニングイベントを行います。令和6年度は福井県まちづくりセンターに委託し、「大学生限定！アウトドア体験ツアー」として実施しました。

第1回ツアーは「海洋環境」をテーマに開催し、若狭湾でのカヤック体験を通して海洋ごみ問題についての理解を深めました。第2回ツアーは「森林環境」をテーマに開催し、里山でのワークショップや薪オープンでの料理を楽しみながら自然との付き合い方や気候変動問題について考えました。第3回ツアーは「生物多様性」をテーマに開催し、外来種を活用した食を通して生物多様性や資源循環の大切さを学びました。第4回ツアーは「環境保全活動の実践」をテーマに開催し、三国サンセットビーチでビーチクリーンを実施しました。

どの回においても、大学生の環境に対する理解と関心を高める機会となりました。



里山でのワークショップ（第2回）



ビーチクリーンで回収した海洋ゴミ（第4回）

(5) こどもエコクラブ活動への支援【環境政策課】

こどもエコクラブとは、幼児（3歳）から高校生までなら誰でも参加できる全国的な環境活動クラブの組織です。こどもエコクラブは子どもたちの主体的な環境保全活動や環境学習の支援を目的としており、学校の生徒と先生、家族単位、町内の子ども会など、気軽にクラブ登録を行うことができます。県内では、令和6年12月末現在で32クラブ1,963人の子どもが登録しており、各クラブで様々な活動を行っています。

こどもエコクラブの本県事務局は環境ふくい推進協議会^{*1}が担っており、各クラブの活動に対して助成を行っています。令和6年度は、海辺の漂着物・マイクロプラスチック調査に取り組んだ福井市鷹巣小学校5・6年生、漂流物アートに取り組んだ坂井市立丸岡南中学校、地域海岸において海ゴミ対策の啓発活動を行ったおおい町立大島小学校の計3クラブに対して活動への支援を行いました。



漂流物調査（福井市鷹巣小学校5・6年生）



漂流物アート（坂井市立丸岡南中学校）

^{*1} 環境ふくい推進協議会：環境保全にかかる県民、団体、企業のネットワークづくりおよび地域に根ざした活動の育成を図り、継続的かつ着実な環境保全活動の推進を図ることを目的として、平成6年10月に設立された団体です。

◆第2部 分野別施策の実施状況



海ゴミ対策用の看板設置（おおい町立大島小学校）

また、こどもエコクラブの全国事務局では、登録クラブを対象とした「全国エコ活コンクール」を開催しており、環境活動に関する壁新聞や絵日記、デジタル作品の募集を行っています。このコンクールで県代表作品に選出されたクラブには「こどもエコクラブ全国フェスティバル」への参加権が与えられ、環境ふくい推進協議会では、こちらの参加に係る助成も行っています。



鷹巣小学校5・6年生が制作した壁新聞

（6）環境アドバイザー【環境政策課】

県では、環境ふくい推進協議会と連携して、環境保全についての有識者や環境保全活動の実践者を環境アドバイザーとして登録し、各種団体や学校・公民館等が主催する環境問題に関する学習会や講演会の講師として派遣しています。

環境アドバイザー派遣事業では「美しい福井の環境を県民の手で守り育てる」ことを目的に、環境保全に関する講演会や現地指導を実施しています。現在98名（令和6年11月末現在）の環境に関する専門家が登録されています。

学習会等の内容は、環境問題やリサイクル、省エネ、自然保護などの講座や山や海での自然体験など多岐に渡り、皆さんに楽しく環境について学んでいただいています。この制度により、県民の環境問題への関心や環境保全に対する取組みの意識が高まっています。

表5-1-4 環境アドバイザー派遣実績

	令和5年度	令和6年度
派遣人数	124人	129人
受講者数	2,832人	2,515人

（令和6年11月末時点）



環境アドバイザーによる学習会

(7) 親子で環境活動推進事業*¹【環境政策課】

県内の小学生親子を対象とした、自然体験の機会と環境学習の場を提供する事業です。令和6年度は「三方五湖トレジャー！」と題して、環境ふくい推進協議会主催、一般社団法人 SwitchSwitch 主管のもと10月に2回のイベントが実施されました。

10月13日には、伝統漁法体験プログラムが開催され、三方湖で400年以上続くうなぎの筒漁を船上から見学し、参加者はうなぎの習性を活かした漁の方法に興味を示していました。

10月26日には、生き物観察プログラムが開催され、参加者は捕獲した特定外来生物の「アカミミガメ」「ブルーギル」「ライギョ」に直接触れ、その大きさに驚いていました。

ツアーガイドからは、地域の歴史や生態系保全の大切さについての説明もあり、自然との共生について学ぶ機会となりました。



天然うなぎがば焼きの試食



アカミミガメに直接触れる子どもの様子

(8) 環境教育情報の発信【環境政策課】

福井県環境政策課のホームページでは、自然体験や環境学習会などの情報を発信しています。特に、学生向けの事業に関しては当日の活動の様子を環境教育教材としてYouTubeで配信しています。今後も引き続き、県民が幅広く活用できる環境教育教材のデジタルコンテンツ化を進めます。

令和6年度は、「永平寺」と「美浜」で環境学習！



環境教育『小学生の活動』（福井県HP）

令和6年度の「エコラーニング」紹介！



環境教育『大学生の活動』（福井県HP）

福井県環境政策課



『環境教育』

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankyoe/ee/ee-top.html>

*¹ 親子で環境活動推進事業：環境保全活動の促進を目的として、環境ふくい推進協議会が令和2年度より提供している親子で一緒に楽しめる環境教育・自然体験活動事業です。

◆第2部 分野別施策の実施状況

2 活力と資源が最大限に活かされる地域づくりの促進

(1) 県民の環境美化活動

① クリーンアップふくい大作戦【環境政策課】

地域の環境保全に関する県民意識の啓発を目的として、住民が主体となって県内一斉に美化活動を行う「クリーンアップふくい大作戦」を季節ごとに年4回の統一行動期間を設け、市町や自治会などが一体となって地域ぐるみの美化活動を実施しています。

これらの取組みのほか、令和6年度は、海ごみの発生防止をテーマに、県内河川の上流域から下流域ならびに海岸等において、住民・企業・団体などが清掃を行う「ふくい海ごみゼロチャレンジ2024」を実施しました。県内全ての自治体が連携し、12月末時点で17,000人以上の県民が清掃活動に参加しました。



ふくい海ごみゼロチャレンジ2024
(福井市東郷地区 天神橋周辺での河川清掃)

② 自然公園の美化【自然環境課】

自然公園美化思想の一層の普及を図るため、環境省では8月の第1日曜日を「自然公園クリーンデー」として位置付け、全国の自然公園を対象とした大規模な美化清掃活動を実施しています。

実施にあたっては、関係市町その他の団体との連携のもと、地域の一斉清掃などを行っています。

3 環境に配慮した活動の促進

(1) 全国育樹祭の開催【森づくり課】

令和6年10月19日、20日に「第47回全国育樹祭」を開催し、県内各地で様々な行事が行われました。全国育樹祭は、森を継続して守り育てることの大切さを普及啓発するため、昭和52年から全国植樹祭を開催したことのある都道府県で開催されている行事です。

一乗谷朝倉氏遺跡（福井市）では、平成21年に開催された「第60回全国植樹祭」で当時の天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木に、秋篠宮皇嗣同妃両殿下が枝打ちなどのお手入れをされる「お手入れ行事」が行われました。また、サンドーム福井（越前市・鯖江市）では、秋篠宮皇嗣殿下によるおことばや緑化活動等で功績のあった方への表彰などの「式典行事」が行われました。

この全国育樹祭の開催を契機に、美しく豊かな水と緑に恵まれたふるさと福井を次の世代につないでいくため、「木を伐って使い、植え育てる」取組みを、さらに進めていきます。



お手入れ行事で施肥をされる秋篠宮皇嗣同妃両殿下
(一乗谷朝倉氏遺跡)



式典行事でおことばを述べられる秋篠宮皇嗣殿下
(サンドーム福井)

(2) 河川環境美化、河川愛護月間【河川課】

河川環境美化については、地域住民等による活動の広報等を行う「川守」推進事業を展開するとともに、地域住民団体等が行う草刈活動への補助を行う「地域をつなぐ河川環境づくり推進事業」により、良好な河川環境の創出に努めています。

また、毎年7月の河川愛護月間には、県庁ホールにて河川愛護のパネル展を実施し、河川愛護に関する意識の啓発を行っています。

(4)県民・団体・企業等との連携の強化【環境政策課】

① 環境ふくい推進協議会

環境保全活動を推進していくためには、県民、団体、事業者、行政がお互いに協力し合い、取り組んでいくことが重要です。

このため、県では、県民、団体、企業で構成する環境保全ネットワーク「環境ふくい推進協議会」の運営を支援し、情報紙の発行やセミナーの開催などを通じ、環境保全に関する意識の啓発を図ってきました。

環境ふくい推進協議会は、県民が一体となって進める環境保全に関する県民運動を実践することを目的として、平成6年10月に設立された団体です。

令和6年には設立30周年を迎え、記念誌（みんなのかんきょう特別号）や記念会員証を発行しました。協議会では、今後も環境保全活動の輪を広げるための様々な事業を展開していきます。

環境ふくい推進協議会会員数（令和6年12月末現在）

企業会員	214 社
団体会員	125 団体
個人会員	938 人
行政	18 自治体（市町・県）

また、環境ふくい推進協議会では、県内における企業、団体、行政等の環境に関する活動や情報の共有を図るため、専用のホームページを開設しています。このページでは、各主体が環境に関するイベント情報やお知らせを自由に掲載、閲覧することができます。情報共有の場として活用しています。

表5-3-3 環境ふくい推進協議会の主な取組み

主な取組み	令和6年度
環境保全活動促進協働事業	1 協議会会長表彰 2 ふくいまるごと環境学び舎 3 環境マネジメント推進事業 4 市町環境連携事業 5 こどもエコクラブ活動促進事業 6 SATOYAMA 国内ネットワーク推進 7 親子で環境活動推進事業 8 プラスチックごみ削減推進事業 9 ふくいの環境を守るための資格取得支援事業 10 カーボンニュートラル普及推進事業 11 エコニュージェネ事業 12 設立30周年記念事業
普及広報事業	1 情報誌「みんなのかんきょう」発行事業 2 ホームページによる普及広報 3 メールマガジンの配信による普及広報 4 「ふくいっ子に体験して欲しい50の自然体験」普及広報 5 各市町環境フェアにおける普及広報
県補助事業	1 環境アドバイザー派遣事業 2 リペア・リユース推進事業 3 家庭の省エネ（デコ活）推進事業
団体助成事業	環境ふくい未来創造事業



30周年記念誌



30周年記念会員証

図5-3-4 環境ふくい推進協議会ホームページ画面



(URL <http://www.kankyou-fukui.jp/>)

◆第2部 分野別施策の実施状況

(5) 環境に関する表彰

県では、地域で様々な環境活動を行っている個人や団体の努力に報いるため、また、今後の活動の励みとしていただくため、積極的に各種表彰制度に推薦しています。また、応募形式による表彰制度につ

いても、対象者等に情報提供などを行っています。

令和6年度において表彰を受けた個人や団体等は、表5-3-5のとおりです。

表5-3-5 環境に関して表彰を受けた個人・団体・企業・学校（令和6年度）

表 彰 名	目 的 等	表 彰 者	被 表 彰 者
「みどりの日」自然環境功労者大臣表彰	自然環境の保全に関し、顕著な功績があった者（又は団体）を表彰	環境大臣	堀江 照夫
自然公園関係功労者環境大臣表彰	自然公園の保護とその適正な利用の推進に顕著な功績があった者（又は団体）を表彰	環境大臣	牧野 晃治 小原 ECO プロジェクト
自然公園指導員表彰	自然公園指導員として永年にわたってその職務に精励し、その功績が特に顕著である者を表彰	環境省 自然環境局長	山岸 登美子
愛鳥週間用ポスター原画コンクール表彰	ポスターの制作過程を通じて野生鳥類についての保護思想を高めるとともに、愛鳥週間の普及啓発を図るため優秀作品を表彰	福井県知事	【知事賞】 宮川 ちはや（小浜市立小浜美郷小学校） 畠中 万紘（敦賀市立松陵中学校）
環境ふくい推進協議会会長表彰（令和6年度に表彰）	環境保全活動に関し、地道にたゆまぬ努力を続けている個人、団体、学校、企業で、その活動が賞賛に値する者を表彰	環境ふくい推進協議会会長	【個人の部】 朝日 憲雄（福井市） 藤田 満雄（福井市） 山岸 稔（福井市） 清水 武正（大野市） 【団体の部】 まつもと輝きたい（福井市） 槇山を育てる会（福井市） 日本野鳥の会福井県（勝山市） グループ山川田（越前市） 郷の森里楽（越前市） 環境シティズンシップ教育の会（坂井市） 【学校の部】 福井市美山中学校（福井市） 【企業の部】 二光技建株式会社（敦賀市）
環境美化教育優良校等表彰	環境美化に独創的、熱心に取り組み、食品容器の散乱防止やリサイクルの実践教育に優秀な成果があった小中学校を表彰	公益社団法人食品容器環境美化協会会長	【農林水産大臣賞】 福井市美山中学校（福井市）

2 環境情報の収集と提供【環境政策課】

県民や事業者の環境への関心を高め、環境への負荷の低減に向けた取組みを促進していくためには、環境に関する幅広い情報をわかりやすく、迅速に提供することが重要です。県では、インターネットや情報紙など様々な媒体を通じて、環境情報を提供しています。

(1) 「みどりネット」の整備、運用

県では、各種の環境情報をデータベース化し、行政内部での活用にとどまらず、広く県民に提供する「環境情報総合処理システム（みどりネット）」を平

成12年3月に整備しました。このシステムは、大気や水質等の環境状況等の情報を集約化し、地図や表などにより表示するもので、インターネットのホームページ「みどりネット」から利用できます。

みどりネットのアクセス件数（ページビュー）は、次のとおりです。

表5-3-6 みどりネットのアクセス件数

	令和3年度	4年度	5年度
アクセス件数	3,430,973	3,715,546	2,374,334

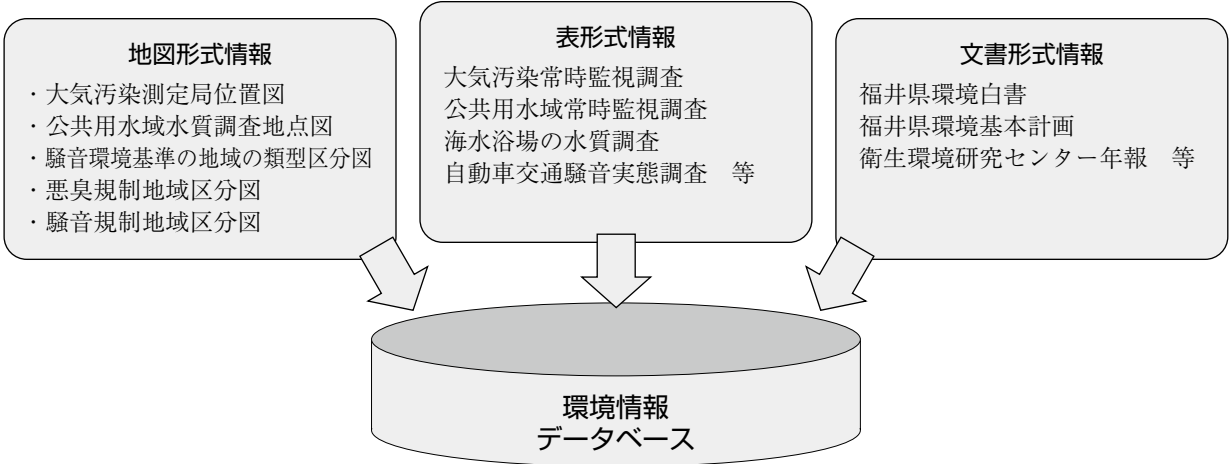
図5-3-7 環境情報総合処理システム（みどりネット）画面



(URL <http://www.erc.pref.fukui.jp/>)

図5-3-8 環境情報総合処理システムの概要

1 環境情報のデータベース化



2 環境情報のビジュアル化

データベース化された多様な情報を、地図や表等によりビジュアルに表示します。



分野別施策の実施状況

各分野に共通する施策の推進

◆第2部 分野別施策の実施状況

(2) 環境月間を中心としたイベント情報提供など

環境基本法に定められた6月5日の「環境の日」を中心とする6月の1か月間は、「環境月間」とされています。県においても、県民の環境問題への関

心と理解を深め、環境の保全に関する活動を行う機会とするため、6月を中心に様々な行事を取りまとめ、ホームページ等で紹介しています。

表5-3-9 令和6年度「環境月間」の主な実施行事

【県民参加行事】

行 事 名	実施主体(所管)	内 容	実 施 日	実 施 場 所
カー・セーブデーの実施	交通まちづくり課	公共交通機関や自転車の利用促進とCO ₂ (二酸化炭素)の排出量削減のため、過度な車の利用を控えるカー・セーブデーを実施。	6月毎週金曜日	県内全域
ふくいSDGsフェス	未来戦略課	福井県出身の美術家・長坂真護(MAGO)氏と協働でSDGsを広く啓発。	6月1日(土)、 2日(日)	西武福井店
クールビズの実施	環境政策課	冷房時の室温(目安として28℃)の適正管理と軽装(ノー上着、ノーネクタイ)勤務を実施。	5月1日(水) 10月31日(木)	県、市町、 賛同団体・事業所
クリーンアップふくい大作戦	県、市町、環境ふくい推進協議会	6月の統一行動期間に居住地、工場・事業場周辺等において、清掃、草刈等を行い、県民、各種団体、行政が一体となって美化活動を実施。	6月1日(土) 6月30日(日)	県内全域
週末天体観望会	自然保護センター	毎週テーマを決めて、季節に応じた天体の観察と、星座や天体の学習を行う。	6月毎週土曜日	自然保護センター
自然観察シリーズ	自然保護センター	毎回異なるテーマに沿ったガイドの解説を聞きながら、自然観察の森を散策する。	6月毎週日曜日	自然保護センター
第14回みどりと花の県民運動大会	緑と花の県民運動推進委員会(森づくり課)	第60回全国植樹祭を契機に展開している「緑と花の県民運動」を推進するため、「みどりと花の県民運動大会」を実施。第47回全国育樹祭式典行事で行われる「緑の贈呈」用苗木の受渡式や、緑や花に親しむ様々な体験型イベントを実施。	6月1日(土)、 2日(日)	総合グリーンセンター
九頭竜湖コクチバス一斉駆除	水産課	漁協、漁連、ダム管理者、福井県内水面総合センターと協力し、コクチバスの駆除を実施。	6月11日(火)	大野市九頭竜湖
はす川の魚を観察しよう	海浜自然センター	三方湖に流れる川「はす川」の魚などを捕まえて観察することで、生きものや生態系について知る。	6月2日(日)	若狭町はす川
池ヶ原湿原外来植物駆除作業	自然保護センター	湿原に侵入した外来種を抜き取り、ミズチドリなどの貴重な植物の保護を行う。	6月15日(土)	勝山市平泉寺町 池ヶ原湿原
環境科学体験教室2024	衛生環境研究センター	地球温暖化や水環境について学べる体験型のイベントを実施。	6月8日(土)	福井県文書館研修室

【普及啓発事業】

行 事 名	実施主体(所管)	内 容	実 施 日	実 施 場 所
広報活動	福井県	新聞、テレビ、ラジオ、広報誌、SNS等で環境月間の趣旨や、環境美化・保全に対するPRを実施。	環境月間中	県内全域
環境月間 パネル展	環境政策課	気候変動適応に関するパネルやエコドライブシミュレーターを展示し、地球温暖化防止に向けた意識啓発を実施。	6月4日(火) 6月9日(日)	福井県立図書館
マイボトル 専用コーナー設置	循環社会推進課	県内のショッピングセンター等33店舗でマイボトル専用コーナーを設置し、啓発POPやチラシの掲示を実施。	6月1日(土) 6月30日(日)	県内ショッピング センター等 (33店舗)
マイボトル運動 啓発記事掲載	循環社会推進課	「ふーぼ」に、マイボトル運動に関する啓発記事を掲載し、マイボトルが当たるプレゼント企画を実施。	6月1日(土) 6月30日(日)	—
マイボトル運動 街頭PR	循環社会推進課	マイボトル運動チラシをハピライン福井駅西口で配布し、PRを実施。	6月3日(月)	ハピライン福井駅
プラスチックごみ 削減に関する啓発 パネル展	循環社会推進課	マイボトル運動や海洋プラスチックごみ問題に関するパネル展示を実施。	6月10日(月) 6月14日(金)	県庁ホール
ごみ減量に向けた 「3きり」「分別」 普及啓発	循環社会推進課	新聞、WEB記事で雑がみ回収袋の作り方を紹介し、紙資源分別の実践を促進。	6月8日(土)	県内全域
ポイ捨て ストップ キャンペーン	循環社会推進課	鮎釣り解禁日に併せ、鮎釣り客に対し、プラスチックごみポイ捨て防止にかかる広報チラシと啓発品を配布。	6月15日(土)	永平寺町内
		産業廃棄物運搬車両路上検査に併せ、運転者に対し、プラスチックごみポイ捨て防止にかかる広報チラシと啓発品を配布。	6月24日(月)	あわら市熊坂地籍

分野別施策の
実施状況

【監視・指導強化】

行 事 名	実施主体(所管)	内 容	実 施 日	実 施 場 所
環境パトロール	循環社会推進課 各健康福祉センター	工場・事業場、廃棄物処理施設、道路、河川、海岸等のパトロールを実施する。	年間 (6月強化月間)	県内全域
	循環社会推進課 坂井・奥越健康福祉センター	石川県と合同による福井・石川県境付近の監視パトロールを実施する。	6月20日(木)	福井・石川県境
	自然環境課	自然公園内およびその周辺の違法行為等の監視を行う。	環境月間中	国立公園・国定公園・県立自然公園
スカイパトロール	循環社会推進課 県警本部航空隊	県警ヘリ「くずりゅう」による空から廃棄物の不法投棄等発見のための監視パトロールを実施する。	6月27日(木)	県内全域
環境犯罪取締り	県警本部生活環境課 県下各警察署	廃棄物の不法投棄、野外焼却事犯等の環境事犯の取締りを実施する。	年間	県内全域
合同路上検査	循環社会推進課 各健康福祉センター	福井県税事務所と合同による産廃積載車両の路上検査を実施する。	6月24日(月)	福井県

各分野に共通する
施策の推進

◆第2部 分野別施策の実施状況

(3) 刊行物

【環境政策課、循環社会推進課、自然環境課】

水、大気、自然、廃棄物等の様々な環境の課題や、県の取組み等について、情報紙やパンフレット等の刊行物の作成・配布を行い、環境に関する情報を提

供しています。また、これら刊行物の一部は、県や環境ふくい推進協議会のホームページ、みどりネットにも掲載しています。

表5-3-10 令和5年度 環境関連刊行物

刊行物の名称	発行状況	頁数	発行部数	備考
みんなのかんきょう 第76号	年1回	19	2,500	環境ふくい推進協議会情報誌
ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験 + 地球温暖化を防ぐ10のできるこ	年1回	26	7,000	
令和5年度版 環境白書	年1回	158	540	
令和5年度版 環境白書（資料編）	年1回	117	160	
令和4年度 公共用水域および地下水の水質 の測定結果報告書	年1回	104	HP 公開	
令和6年度 公共用水域および地下水の水質 の測定に関する計画	年1回	51	HP 公開	
FUKUTEKI - 気候変動適応センター通信 -	年4回	4	2,000	
福井県認定リサイクル製品パンフレット	年1回	16	900	
令和4年度衛生環境研究センター年報	年1回	76	70	
福井県衛生環境研究センター公式 note	随時	6	HP 公開	
令和5年度福井県鳥獣保護区等位置図	年刊	図1枚	2,000	
ナチュラリスト 2024年度行事案内号	年1回	22	HP 公開	
福井県自然保護センター研究報告 「キコニア第27巻」	年1回	202	500	
令和5年度年報（福井県自然保護センター）	年1回	36	350	福井県自然保護センター事業概要
海遊（活動の記録）第24号	年1回	56	HP 公開	福井県海浜自然センター事業概要
自然保護センター行事案内	年1回	2	2,000	
海浜自然センター行事案内	年1回	8	HP 公開	
海浜自然センター行事案内（カレンダー）	年1回	1枚	1,200	
自然保護センターリーフレット	随時	2	1,000	
自然保護センターニュース	年4回	4	HP 公開	
福井県里山里海湖研究所リーフレット	随時	4	500	
福井県里山里海湖研究所年報 2023	年1回	44	400	福井県里山里海湖研究所事業概要
里山里海湖ブックレット 「福井県の焼畑～その歴史と未来を考える～」	随時	79	300	
年縞博物館 広報パンフレット	随時	4	20,000	
年縞博物館 解説書	随時	87	1,100	
福井県年縞博物館年報 第4号	年1回	50	190	福井県年縞博物館事業概要